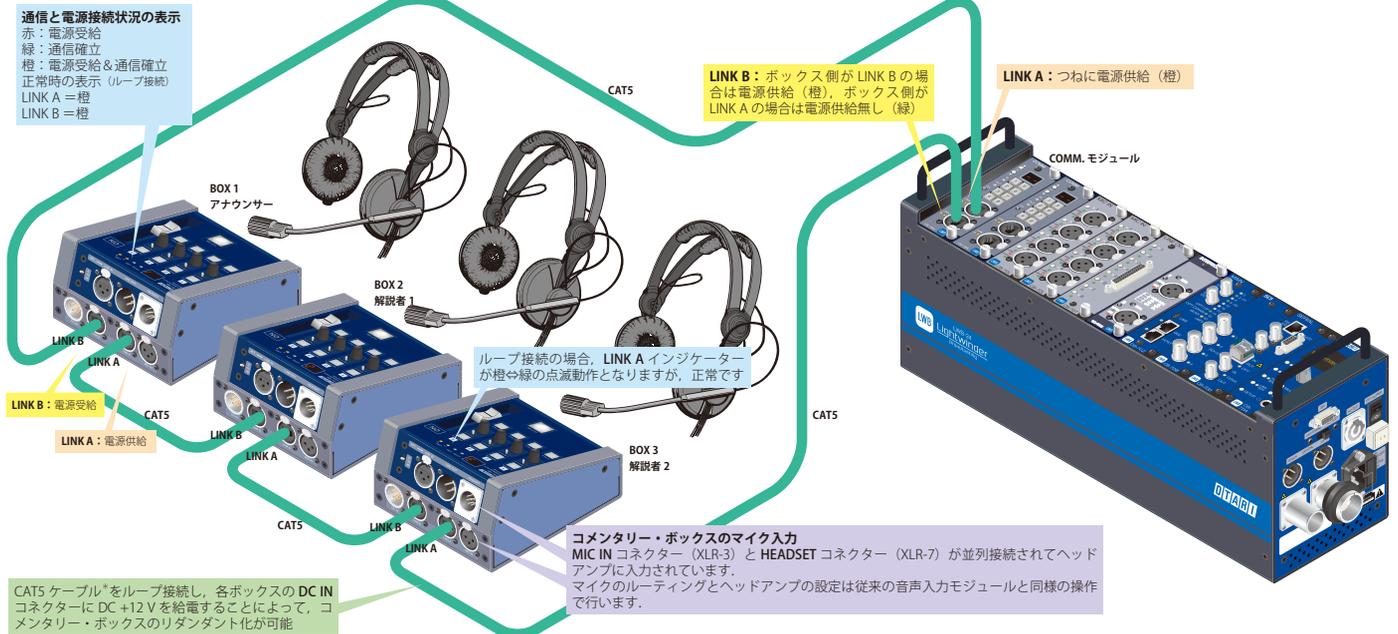


LWB-24/72 Commentary & Communication System クイック・ガイド

LWB コメンタリー・システムはコメンタリー・ボックスと COMM. モジュールとで構成されており、シンプルかつフレキシブルにコメンタリー・システムを構築できます。このクイック・ガイドではルーティング設定の基本を解説します。より詳しい操作方法は LWB コメンタリー & コミュニケーション・システムの取扱説明書第 3 版以降(以下「取説」と表記)を併せてご覧ください。

このガイドでは COMM モジュール 1 枚とコメンタリー・ボックス 3 台をループ接続した場合を想定しています(取説 17 ページ)。

■コネクターとインジケータの働き



*: 両端が etherCON で、シールド線がコネクター・ハウジングに結線された CAT5 ケーブルを使用してください。

重要なのはルーティング計画を事前に作成することです。これができていれば LWB コメンタリー・システムの設定も後からの修正もスムーズに行えます。ここでは下表のようなルーティング・プランを考えてみます。

■ルーティング番号は法則性を持たせて割り振ると管理しやすくなります

例えば：
 ・BOX 1 の本線 (Main Routing #) は 1、バック・トーク (Tlk Rtng #) の CH1 は 11, CH2 は 12, CH3 は 13, CH4 は 14
 ・BOX 2 の本線 (Main Routing #) は 2、バック・トーク (Tlk Rtng #) の CH1 は 21, CH2 は 22, CH3 は 23, CH4 は 24
 ・BOX 3 の本線 (Main Routing #) は 3、バック・トーク (Tlk Rtng #) の CH1 は 31, CH2 は 32, CH3 は 33, CH4 は 34
 のようにします。この方法ならばルーティング番号でどのボックスの何の回線かを表を見なくても推測できます。

	BOX 1 アナウンサー UNIT ID Unit ID 1				BOX 2 解説者 1 UNIT ID Unit ID 2				BOX 3 解説者 2 UNIT ID Unit ID 3			
Main Routing #	1				2				3			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
	送り返し	指令系		Air	送り返し	指令系		Air	送り返し	指令系		Air
Main Grp#												
Sub Grp#												
Tlk Rtng#	11	12	13	14	21	22	23	24	31	32	33	34
Group#		1				1				1		
Lstn1 Rtng#	41	22		45	41	12		45	41	12		45
Lstn2 Rtng#		32				32				22		
Lstn3 Rtng#												
Lstn4 Rtng#												
Lstn5 Rtng#												
Lstn6 Rtng#												
Lstn7 Rtng#												
Lstn8 Rtng#												

■ コメンタリー・ボックスの接続とマイクの設定

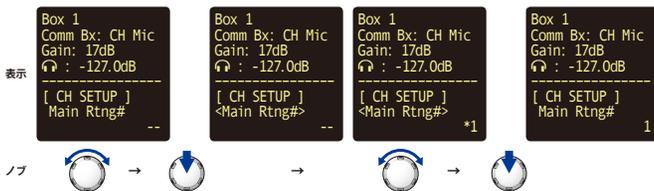
下例ではアナウンサー・マイクの本線出力ルーティングとヘッドアンプを設定します。

本線のルーティング

1. COMM. モジュールの ID ▲ / ▼ ボタンを押してユニット ID 1 を 7 セグメント LED に表示させ、同モジュールの CH ボタンを押してボタン内の LED を点灯させる。LWB ユニットの MAIN モジュールの OLED は以下のような画面を表示します：

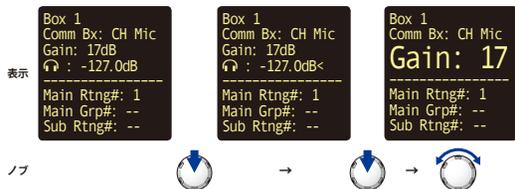


2. LWB ユニットの MAIN モジュールの SETUP スイッチを押し、ノブを操作して (回す/押す) Main Rtn# を 1 に設定する。



ヘッドアンプ・パラメーターの設定

3. MAIN モジュールの ERR./ESC スイッチを押して上記 1 の状態まで戻り、ノブを 2 度押して OLED 上に Gain を大きく表示させ、ノブを回してゲインを希望する値に変更する：



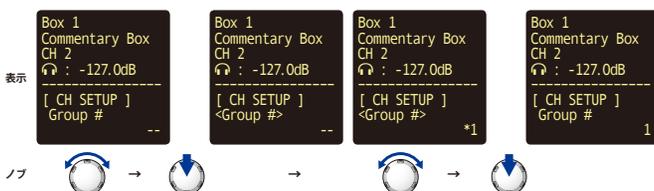
4. 必要に応じて MAIN モジュールの +48V スイッチを押してファンタム電源を、LIMITER スイッチを押してリミッターをオン/オフする。
5. 解説者 1, 2 のボックス 2 と 3 についても同様に設定する。ユニット ID はそれぞれ 2, 3 で、Main Rtn# は 2, 3 とします。

■ 指令系パーティーラインの組み方 (グループ・ルーティング)

1. COMM. モジュールの ID ▲ / ▼ ボタンを押してユニット ID 1 を 7 セグメント LED に表示させ、同モジュールの 2 ボタンを押す。LWB ユニットの MAIN モジュールの OLED は以下のような画面を表示します：



2. LWB の MAIN モジュールの SETUP スイッチを押し、ノブを操作して (回す/押す) Group # を 1 に設定する。



3. 解説者 1, 2 のボックス 2 と 3 についてもボックスを切り替えてから同様に Group # を 1 に設定する。

グループ・ルーティング番号 1 に接続された回線は同じパーティーラインに組まれます。グループ・ルーティングの場合、入力系 (B.TALK 等) のルーティング番号があらかじめ設定されていないと自動的に設定されます (詳細は LWB-24/72 取扱説明書第 3.2 版 (以降) § 4.2.13 「グループ・ルーティング時の自動割付ルーティング No. の設定」を参照)。解りやすい運用には、あらかじめ入力系のルーティング番号を設定することをお勧めします。

■ コメンタリー・ボックスのバック・トーク/モニター (リッスン) 設定

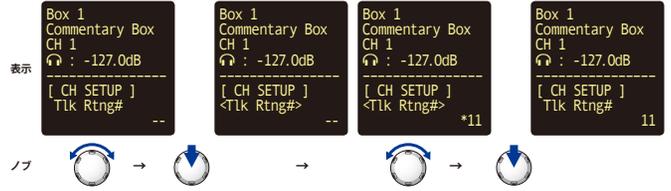
アナウンサーの '送り返し' を例にバック・トークとモニター (リッスン) を設定します。

バック・トーク設定

1. COMM. モジュールの ID ▲ / ▼ ボタンを押してユニット (ボックス) ID 1 を 7 セグメント LED に表示させ、同モジュールの 11 ボタンを押す。LWB ユニットの MAIN モジュールの OLED は以下のような画面を表示します：

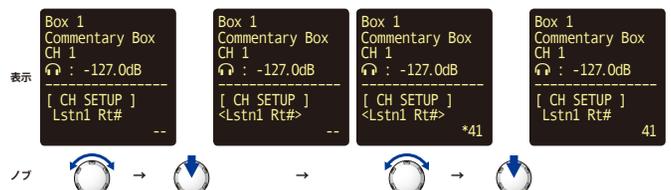


2. LWB ユニットの MAIN モジュールの SETUP スイッチを押し、ノブを操作して (回す/押す) Tlk Rtn# を 11 に設定する。



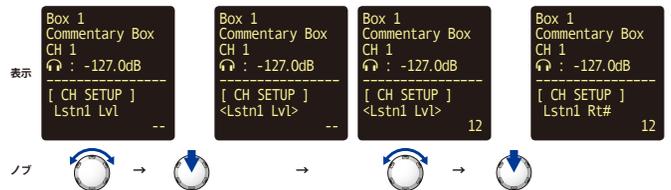
モニター (リッスン) 設定

3. CH SETUP スクリーンで Lstn1 Rt# を表示させ、41 に設定する。



モニター 1 サブチャンネル 1 に割り付けるソースのルーティング番号 (送り返し) が設定されました。

4. CH SETUP スクリーンで Lstn1 Lvl を表示させノブを回してリッスン・チャンネルの個別クロスポイント・ゲインを調節する (-48 ~ +12)。



指令系は 2 を (グループ・ルーティングを行う場合、モニター設定は不要です)、Air は 4 を選んで、同様に上記手順を行います。

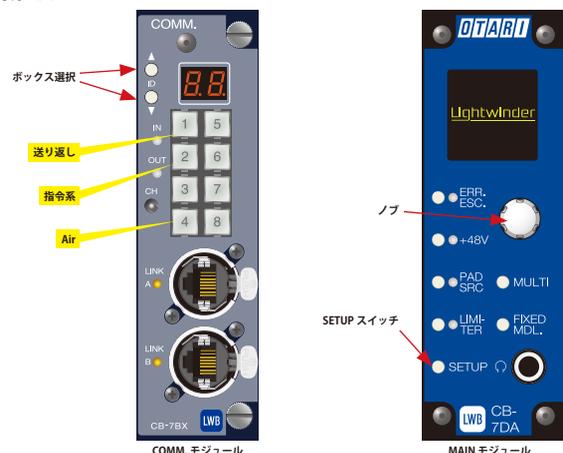
ボックス 1 の 2 の Lstn1 Rt# は 22, 2 の Lstn2 Rt# は 32

ボックス 1 の 4 の Lstn1 Rt# は 45

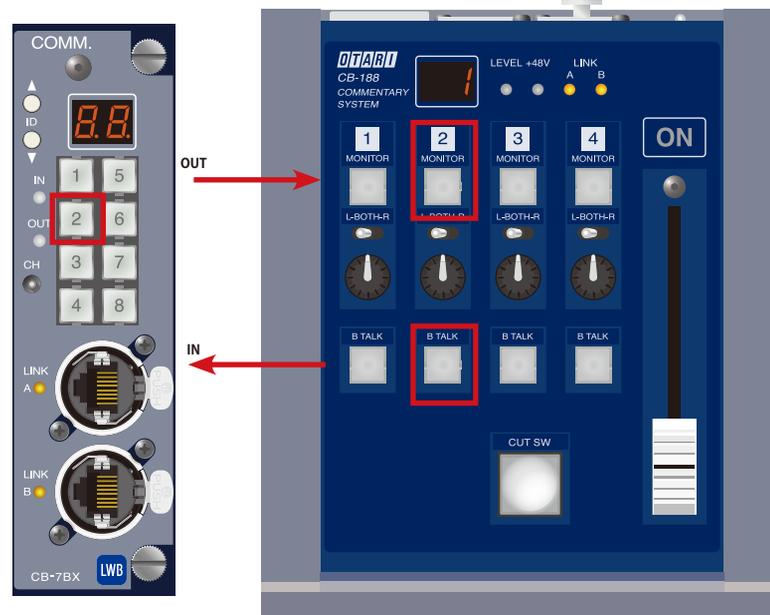
その後、ID ▲ / ▼ ボタンを押してボックスを切り替え、上記手順を行います。

ボックス 2 の 1 の Lstn1 Rt# は 41, 2 の Lstn1 Rt# は 12, Lstn2 Rt# は 32

以下同様です。

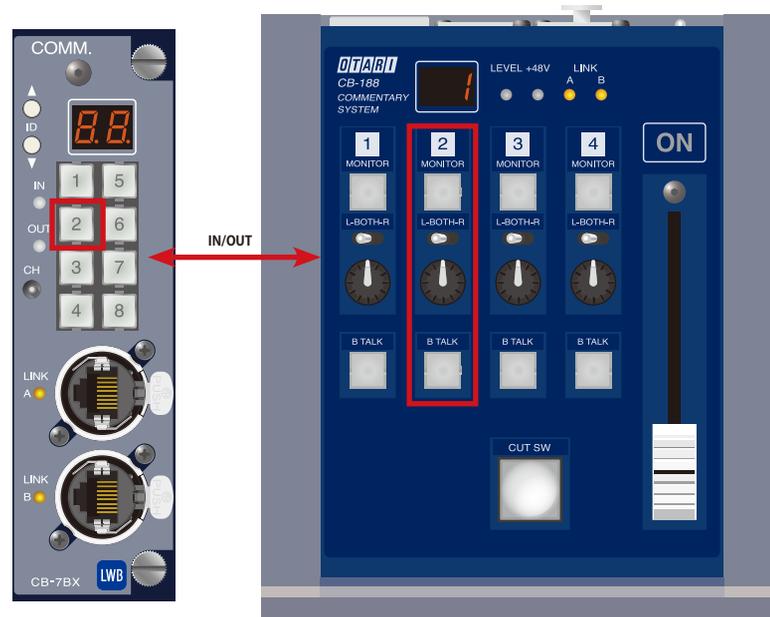


■ B.TALK と MONITOR のルーティング・イメージ



B.TALK : ①～④の各チャンネル（図中の赤枠）から他のボックスにバック・トークが可能。他の音声入力モジュールと同様に、ルーティング番号を割り付ける。
MONITOR : ①～④の各チャンネルにそれぞれ8つのサブチャンネル（1～8）を割り付け可能。各サブチャンネルに目的となるソースのルーティング番号を設定する。
注意 : COMM. モジュールに対してトークがIN、モニターがOUTとなる。

B.TALK と MONITOR をそれぞれ設定した場合



グループ・ルーティングをした場合